

**【教員氏名】**

串田 久治

**【単位数】**

2 単位

**【演習概要】**

「世界市民（コスモポリテース）」とは、国家や民族などの枠をこえて、普遍的な理性をもつ人間という意味で、今から二千数百年前のヘレニズム時代に生まれた人間観である。「今、なぜ世界市民を考えるのか」、この問いを解く鍵がチャイナタウンにあると考える。本講義では世界中に根を張る中国人のコミュニティー（チャイナタウン）を調べて、その功罪を考えながら、21 世紀の「世界市民」を考える。

**【学習目標】**

本講義は書物から学ぶものではない。問題意識を持って自分で調べ、調べたことを発表し、それについて議論し、人の意見に耳を傾け、そして自分の頭で考え、その考えを整理することが目的である。具体的には、最初に班分けをし、班で相談して対象国（地域）を決める。しばらくは個々人で調べて発表するが、班でパワーポイントにまとめて発表するので、思考能力・分析力・文章力・プレゼンテーション能力を高めることができる。

**【講義計画】**

第 1 回：オリエンテーション

- ・今、なぜ世界市民なのか？
- ・チャイナタウンとは？
- ・なぜ「リトル東京」なのか？

第 2 回：世界のチャイナタウン（Ⅰ）

第 3 回：世界のチャイナタウン（Ⅱ）

第 4 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 5 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 6 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 7 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 8 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 9 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 10 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 11 回：調査研究・発表とディスカッション。

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 12 回：プレゼンテーション（Ⅰ）

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 13 回：プレゼンテーション（Ⅱ）

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 14 回：プレゼンテーション（Ⅲ）

ただし、受講生数・ディスカッションの白熱度により変更あり。

第 15 回：総括

**【成績評価の方法】**

本講義は書物から学ぶものではありません。講義中に議論し、人の意見に耳を傾け、自分の頭で考え、その考えを整理することが目的です。従って毎回出席しなければ意味ありません。また、本講義は班ごとに活動しますので、欠席・遅刻は認められません（欠席・遅刻は班の活動に支障をきたし、メンバーに多大な迷惑となります）。遅刻・欠席は講義の妨げとなりますので、講義を辞退していただく場合もあります。

毎回の小レポートと数回の中間レポートが義務づけられ、小レポートおよび中間レポートの不良者は最終レポート提出の資格を失います。

レポート・プレゼンテーション・ディスカッションへの積極性などにより総合的に評価します。

**【準備学習の指示】**

特にないが、必要なときはその都度指示する。